eLAつうしん
eライブラリアドバンス
2023年1月増刊号 Vol.218

東京都府中市立 府中第三小学校・府中第七中学校（ふちゅう）

タブレット端末の持ち帰り課題として

～週単位での課題と長期休暇中の宿題での運用～

東京都府中市第２弾の本号では、タブレット端末の持ち帰り課題の実践として、府中第三小学校での１週間単位の課題の取り組みと、府中第七中学校での長期休暇中の宿題の取り組みについてご紹介します。

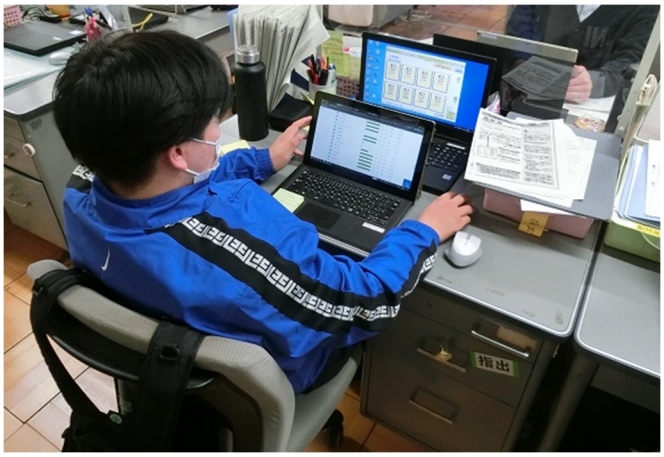
持ち帰りで課題を出題　府中市立府中第三小学校

▲児童は真剣に問題に取り組んでいます

府中第三小学校では、夏休み明けから、毎日のタブレット端末の持ち帰りにおいてｅライブラリを課題として活用することを始めました。課題は**１週間の期間を設けて、児童が自分にあったタイミングで取り組みます。**

最初の１週間で確認テストを出題し、次の週は確認テストの結果をもとに、自動個別課題を出題します。１か月に二つの単元の確認テストと自動個別課題を行うことで、先生も児童も無理なく取り組めています。

学習履歴のグラフから児童の理解度を確認



▲児童の学習状況を職員室で確認します

ｅライブラリは単元ごとに学習履歴のグラフが表示され、他の単元と比べて、確認テストの平均点の低い単元を一目で確認することができます。また、**児童の苦手や学習内容の定着が不十分な単元を学期末に復習したり、理解に繋がっていない部分を確認したりすることができます。**

クラス全体の結果を可視化することで、学習内容の定着が不十分な単元の課題を出題するなど、児童の実態に即した課題に取り組むことができ、児童も課題意識をもって取り組めています。

インタビュー　「挑戦問題が難しくて解けない」の発言が嬉しい

自動個別課題では、確認テストの結果に応じた課題が出題されるため、児童にも**「自分の取り組んだ成果が反映された課題が出題されるよ」と伝えています。**ある児童から「挑戦の問題が難しくて解けません」と話がありました。それは**しっかり課題に向き合ったからこそ出された「挑戦」に困難を感じた成果であり、それを言葉で伝えてくれたことがとてもうれしく思えた瞬間でした。**

ＡＩが日常にあふれているからこそ、ＡＩを適切に使うことのできる児童を育てていきたいという思いがあります。また、**ｅライブラリを通じ、少しでも上の難易度の問題に挑戦するためにＡＩ型ドリルを使いこなし、**難しくても真剣に問題に取り組むことが、児童の自信や伸びに繋がると思います。

府中第三小学校
情報教育担当
本間 圭太郎 先生

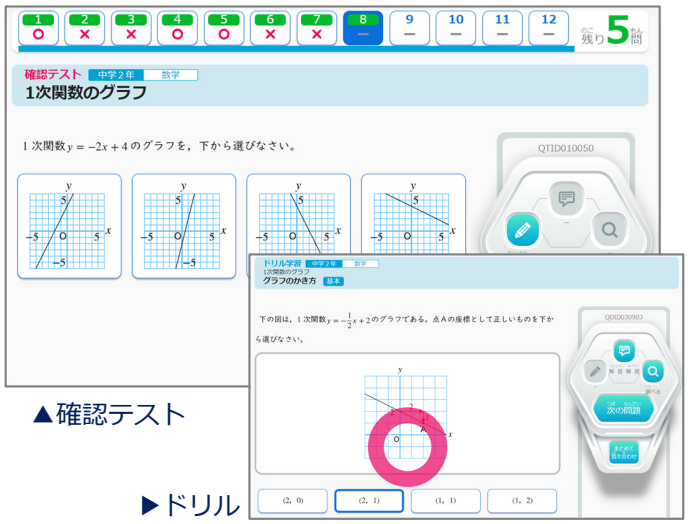
長期休暇中の宿題に　府中市立府中第七中学校

▲ 課題の実施状況をリアルタイムで確認できます

府中第七中学校では、今年度の夏休みの課題で、２年生の数学の宿題を冊子からｅライブラリの課題に切り替えました。課題はドリルと確認テストをセットにして、登校日前日までに期限を設定して出題しました。

冊子の宿題をｅライブラリに差し替えたことにより、生徒の達成度を一覧ですぐに確認できるため、提出後のチェックの時間を短縮でき、管理しやすくなりました。

ｅライブラリの問題からテストを作成



▲確認テスト

▶ドリル

夏休みの後、学習内容がきちんと定着しているかを図るため、夏休みの課題で出題した**ｅライブラリの確認テストやドリルの問題から抜粋して、紙のテストを作成して実施しました。**

テスト結果から、普段の授業ではあまり真剣に取り組めていない生徒や、書くことが苦手な生徒の点数が良かったという結果が表れ、**学習に苦手意識をもっている生徒にとって、ｅライブラリの課題は簡単な操作で取り組みやすく、復習にも繋がっていたと分析しています。**

ｅライブラリ活用のねらい

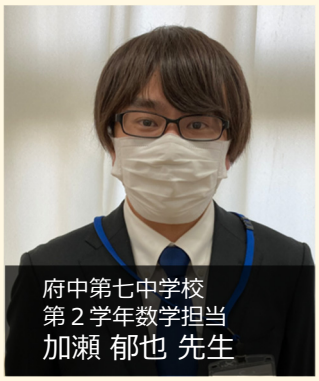
- ｅライブラリを課題として利用することで、タブレット端末の活用について保護者に理解してもらえる（小中共通）
- ｅライブラリのＡＩ型ドリルを通じて、児童にＡＩの指導ができる（小学校）
- 冊子の宿題をｅライブラリに切り替えたことで、達成度が一覧で確認できる（中学校）

インタビュー　やればできた！を実感し、苦手意識を取り除ける

数学が苦手な生徒や、紙の課題では意欲的に取り組めない生徒が、ｅライブラリの課題は一生懸命取り組んでくれており、さらにそれが**テストの結果に繋がっていた**のをみて、実施して良かったと思いました。

数学が苦手な生徒にとって、ただ課題をこなすだけでなく、**結果に繋がるという経験を積み重ね、少しずつでも「やればできるようになる」ということを実感させることで、苦手意識を取り除いていくきっかけになると思います。**

今後も春休みの課題で活用していきながら、長期休暇中に基本的な内容をしっかり復習・確認することで定着させ、次の学習に繋げていけるように活用していきたいと思います。



府中第七中学校
第２学年数学担当
加瀬 郁也 先生

LINES
学ぶチカラを、未来のチカラに

ラインズ株式会社
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス4F
TEL:0120-49-7130　FAX:03-6861-6006
https://support.education.ne.jp/ela/ela2020.html